

# ORION

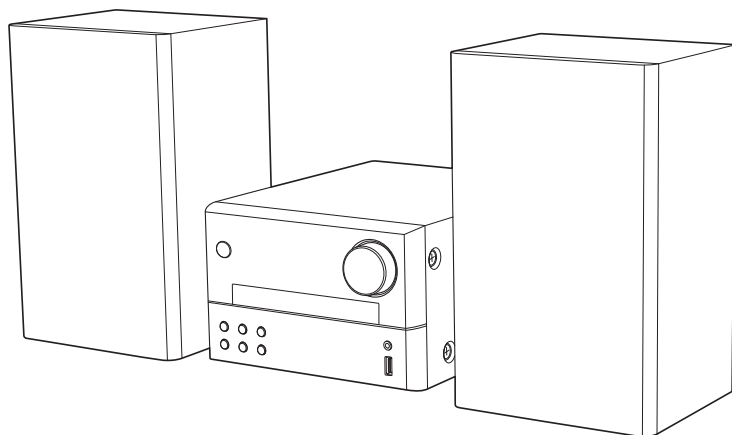
## Bluetooth<sup>®</sup>機能搭載CDステレオシステム SMC-140BT

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



#### も く じ

安全上のご注意	.....	P. 2
ご使用になる前に	.....	P. 4
各部の名称とはたらき	.....	P. 6
使用前の準備	.....	P. 8
正しい使いかた	.....	P. 10
通常の操作	.....	P. 10
CDを聴く	.....	P. 12
USBメモリーのMP3を聴く	.....	P. 17
Bluetooth <sup>®</sup> 機器を聴く	.....	P. 18
FMラジオを聴く	.....	P. 19
お手入れのしかた	.....	P. 20
修理・サービスを依頼する前に	.....	P. 21
主な仕様	.....	P. 23
アフターサービスについて	.....	裏表紙
保証書	.....	裏表紙





# 安全上のご注意





- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)





## 図記号の意味と例

	⓪は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⓪の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)





# 警告

 禁止	交流 100V 以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、電源プラグに触れない。 感電の危険があります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因となります。		リモコンから取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		本機に対してスプレー式のエアスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。		電池を子供にさわらせない。子供の手の届かない場所に保管する 電池交換時、リモコンのふたは必ず取り付けてください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。		リモコンのふたがしっかりしまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保管する。 電池交換時、リモコンのふたは確実に取り付けてください。
本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 使用禁止				

# 警告

 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドゥンジャカスタマーセンター（裏表紙参照）にご相談ください。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。
	お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。		

# 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	 指示	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		通風孔をふさがない。 通風孔（放熱のための穴）をふさがないようにください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。	 指示	電池の極性に注意する 電池を取り付けるとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		本機を設置するときは、壁から20cm以上の間隔をあける。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上の間隔をあける。 内部に熱がこもり、火災の原因になります。
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		
指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。			

# ご使用になる前に

## CD/USBメモリーについて

**USBメモリー** ・ ファイルシステム FAT32

- ・ USB2.0対応
- ・ ~32GBまで対応

本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

- ・ USB/ハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・ 本機はUSBメモリーに記録されたMP3ファイルを再生することができます。
- ・ DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。
- ・ 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

## CD

- ・ レッドブック：Audio CDフォーマット
- ・ ISO9660 準拠
- ・ CD-R/CD-RWに対応

本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3ファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3のディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

「CDについて」(▶5)もお読みください。

- ・ マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

## MP3

- ・ 正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
- ・ MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

## MP3 再生可能ファイル

- ・ ビットレート 96 ~ 320kbps (推奨)
- ・ サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHz
- ・ 999以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたディスクまたはUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。
- ・ 本機は、ビットレート32kbps~320kbpsのMP3ファイルを再生できます。
- ・ 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ・ MP3データの状態によっては、本機では再生できなかったり、特殊再生が正しく動作しなかったり、音が途切れることがあります。

## MP3 ファイルの再生順番について

- ・ 複数のフォルダーにMP3ファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
- ・ 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

## Bluetooth について

**Bluetooth (ブルートゥース)**

本機はBluetoothの無線技術「ワイヤレスシステム」を搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

### 電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯は、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止してください。

### 通信について

- ・ Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用する、音が途切れたりすることがあります。
- ・ 本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・ 本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・ Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

### 安全にご使用いただくために

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・ 病院など医療機関、電車・航空機
- ・ 自動ドアや火災報知機の周辺
- ・ 心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

### Bluetooth 機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク(㊦)」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

### Bluetooth 機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部	仕様
適合規格	Bluetooth Ver.5.2
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP, AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m*
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

\* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

## CDについて

**結露について** 寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起きます。  
この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、1時間程放置してください。

**ディスク使用上の注意**   ディスクに左のマークが入ったものをご使用ください。

コピーコントロールCD (CCCD) や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正しく再生できないことがあります。

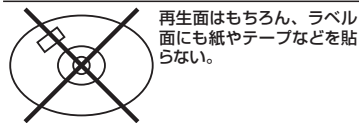
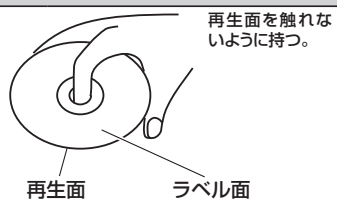


**ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。**  
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

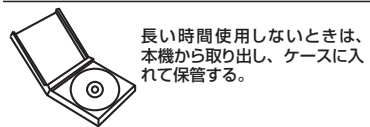
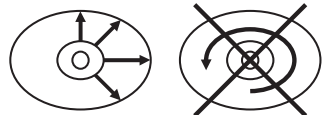


**ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない。**  
機器の故障の原因となります。

**ディスク取り扱い上の注意**



ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



※クラス1レーザ製品です。

## 電池について

- 電池を扱うときには**
- 指定以外の電池は使用しない。
  - 極性表示を間違えないで挿入する。
  - 水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
  - 液漏れがおきたら使用しない。
- 電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは電池を取りはずす。
  - 使いきった電池や、使用推奨期限の過ぎた電池もはずしておく。

## FM補完放送について

**FM補完放送(ワイ・DFM)** AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。  
本機は FM 補完放送に対応しています。

※ FM 補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

## 免責事項について

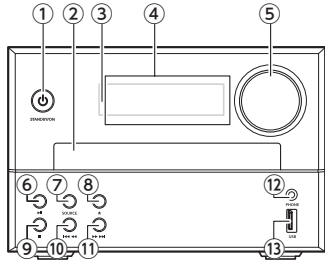
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスクなどへの記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

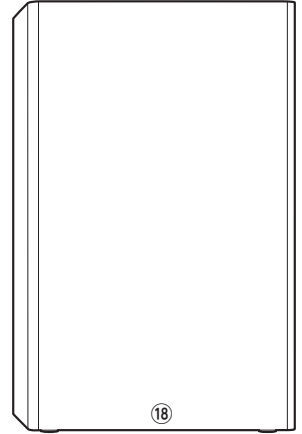
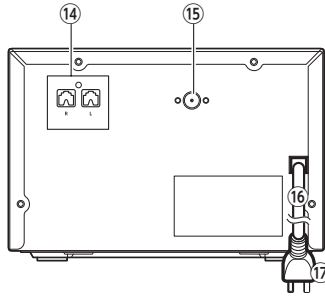
# 各部の名称とはたらき

## 本体

前面



裏面



### 名称

### 機能

#### 本体前面

① 電源/スタンバイボタン	 <b>STANDBY/ON</b>	電源を入/切(スタンバイ)します。
② CDトレイ		CDを載せます。
③ リモコン受光部		リモコンからの信号を受信します。
④ 表示部		各種情報を表示します。
⑤ 音量つまみ	<b>VOLUME</b>	音量を調節します。
⑥ 再生/一時停止ボタン	 <b>▶▶</b>	再生または一時停止します。
⑦ 入力切替ボタン	<b>SOURCE</b>	聴きたいソース(入力)を選択します。 DISC(CD) → USB → RADIO(FM) → BT(Bluetooth) → DISC(CD)
⑧ CDトレイ開閉ボタン	 <b>▲</b>	CDトレイを開閉します。
⑨ 停止ボタン	 <b>■</b>	曲を停止します。ラジオ局の自動プリセットのときに使用します。
⑩ スキップ-/早戻しボタン	 <b>◀◀</b>	前の曲に移動します。再生時に長押しすると早戻しします。 RADIO使用時は、メモリーされた放送局を逆順に選局、長押しで逆順に自動選局します。
⑪ スキップ+/早送りボタン	 <b>▶▶</b>	次の曲に移動します。再生中は次の曲、最後の曲のときは最初の曲にスキップします。長押しすると早送りします。 RADIO使用時は、メモリーされた放送局を順に選局、長押しで順に自動選局します。
⑫ ヘッドホン端子	<b>PHONE</b>	ヘッドホンを取り付けます。
⑬ USB端子	<b>USB</b>	USBメモリーを取り付けます。 ※充電には対応していません。

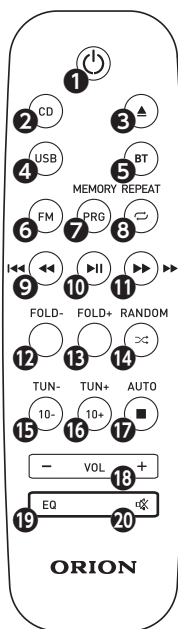
#### 本体裏面

⑭ スピーカー出力端子		スピーカーのケーブルを接続します。
⑮ FMアンテナ端子		付属のFMアンテナ線を接続します。
⑯ 電源コード		
⑰ 電源プラグ		コンセントに差し込みます。

#### スピーカー

⑱ スピーカー (サラネット)		音を再生します。 ※サラネットの取りはずしはできません。
--------------------	--	---------------------------------

## リモコン



名称	機能
<b>リモコン</b>	
① ① 電源ボタン	電源を入/切(スタンバイ)します。
② ⑦ CDボタン	DISCモードにします(CDを再生します)。
③ ⑧ CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します。
④ ⑦ USBボタン	USBモードにします(接続したUSBメモリーから音声を再生します)。
⑤ ⑦ BTボタン	BTモードにします(接続したBluetooth機器から音声を再生します)。
⑥ ⑦ FMボタン	RADIOモードにします(FMラジオを受信します)。
⑦ ⑦ PRG/MEMORYボタン	プログラム再生するときを使用します。ラジオ局のプリセットのときに使用します。
⑧ ⑧ リピートボタン	リピートモードを設定します。
⑨ ⑩ ⑩ スキップ-/早戻しボタン	1曲前に戻します/(再生時長押しで)曲を早戻しします。
⑩ ⑥ ⑥ 再生/一時停止ボタン	再生または一時停止します。
⑪ ⑪ ⑪ スキップ+/早送りボタン	1曲先に進めます(最後の曲のときは最初の曲になります)/ (再生時長押しで)曲を早送りします。
⑫ ⑫ FOLD-ボタン	MP3再生するときのフォルダー(アルバム)変更に使用します。
⑬ ⑬ FOLD+ボタン	MP3再生するときのフォルダー(アルバム)変更に使用します。
⑭ ⑭ ランダムボタン	ランダムモードを設定します。
⑮ ⑮ TUN-/10-ボタン	FM選局とCD/MP3での10曲戻しをします。
⑯ ⑯ TUN+/10+ボタン	FM選局とCD/MP3での10曲送りをします。
⑰ ⑨ ⑨ 停止ボタン	再生中の曲などを停止します。ラジオ局の自動プリセットのときに使用します。
⑱ ⑤ ⑤ 音量ボタン	音量を調節します。
⑲ EQ EQボタン	音質を変更します。FLAT ⇒ JAZZ ⇒ CLASSIC ⇒ ROCK ⇒ POP ⇒ FLAT
⑳ ㊦ ㊦ 消音ボタン	音量を一時的に0(無音状態)にします。もう一度押しすと、元の音量に戻ります。

# 使用前の準備

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

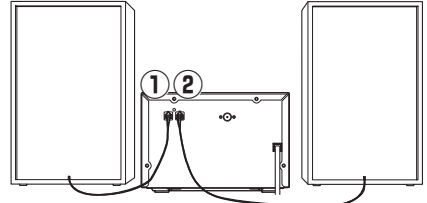
本体.....	1 個	単 4 形乾電池（動作確認用）.....	1 個
スピーカー（スピーカーケーブル直付）.....	2 個	FM アンテナ.....	1 本
リモコン.....	1 個	取扱説明書（保証書含む）.....	1 冊

## スピーカーと電源コードの取り付け

### 1. スピーカー裏面のスピーカーケーブルを本体裏面のスピーカー出力端子に接続する①②

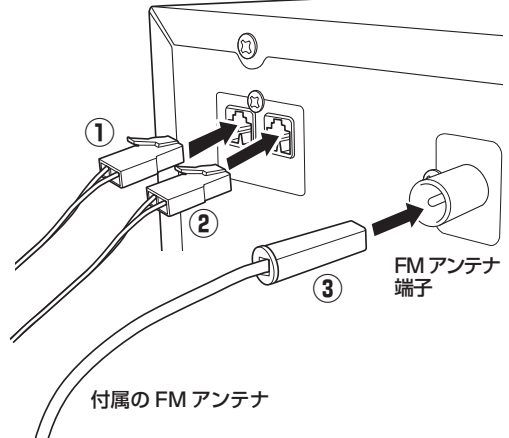
右図のように、本体右側に設置するスピーカーを右側の端子、左側に設置するスピーカーを左側の端子にそれぞれ接続してください。

※スピーカーケーブルのプラグはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。



### 2. 付属のFMアンテナをFMアンテナ端子に取り付け、受信状態が一番良い位置を探して、適当な位置で固定する③

詳細は「FMラジオを聴く」(→19)



**注意** FM アンテナは、子供の手の届く範囲に設置しない。  
アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

※本機のアンテナ入力端子は「PAL端子」です。  
RF端子を使用するときは、市販の変換プラグをご使用ください。

### 3. 本体の電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む



- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。  
火災、事故などの原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを扱わない。  
感電、火災、故障の原因になります。

※電源プラグをコンセントから抜くと、本機で設定した内容はリセットされます。

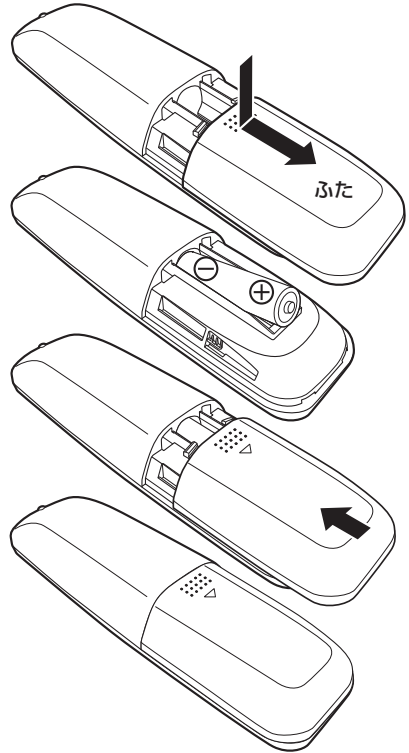


## リモコンの準備

※ 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

## リモコンに電池を入れる

1. リモコン裏側のふたの上を押し、下側にスライドさせて、ふたを引き出す
2. 電池の向き（ $\oplus$ ）に注意して新しい電池を入れる  
・電池の $\ominus$ 側を上にして入れてください。
3. ふたを上側にスライドさせ、すき間がないように取り付ける  
・ボタンを押しても動作しなかったり、反応が不安定なときには、新しい電池（単4形乾電池）を用意して交換してください。



### ⚠注意

- ・長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、 $\oplus$ を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。

### リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、リモコン受光部の正面から約6メートル、左右30度、上下20度の範囲でお使いください。

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

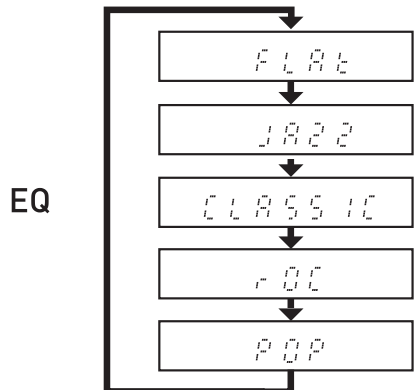
- ・リモコンと本機の間には障害物があるとき
- ・直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- ・赤外線を出す機器の近くで使用したとき

# 正しい使いかた

## 通常の操作

この取扱説明書は、リモコンでの操作方法を中心に説明しています

1. リモコンの $\text{Ⓜ}$ 電源ボタンを押して電源を入れる
2. リモコンの $\text{(-VOL+)}$ 音量ボタンで音量を調節する  
入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。
3. 消音するときはリモコンの $\text{🔇}$ 消音ボタンを押す  
 $\text{🔇}$  消音ボタンを押すと音量0になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。
  - 消音中は表示部に「VOL 00」が点滅表示されます。
  - 消音中に $\text{(-VOL+)}$ 音量ボタンを押すと、消音は解除されます。
4. リモコンの各入力ボタン( $\text{FM}$ )、 $\text{Ⓢ}$ 、 $\text{Ⓜ}$ 、 $\text{Ⓛ}$ )でモードを切り替える  
接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります(USBモードなど)。
5. EQボタンで好みの音質に切り替える  
お好みの音質でお楽しみいただける、5パターンのイコライザー機能が内蔵されています。
  - リモコンのEQボタンを押すたびに、フラット(FLAT)→ ジャズ(JAZZ)→ クラシック(CLASSIC)→ ロック(ROCK)→ ポップス(POP)→ フラット(FLAT)…と音質が切り替わります。




## 6. 聴き終わったら、音量を0（無音状態）にして、リモコンの $\odot$ 電源ボタンを押して、スタンバイ状態にする

- スタンバイ状態ではBluetoothの接続は切断されます。

## 7. 長期間使用しないときは本体の電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

- CD、USBメモリーなど装着したままにしないでください。

 <b>警告</b>	使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
---	--


## ヘッドホンを使う

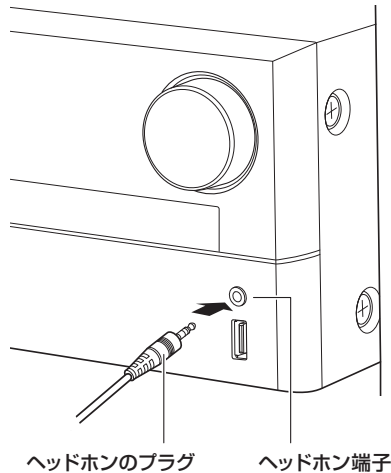
### 1. リモコンの $\ominus$ VOL $\oplus$ 音量ボタンで音量を最小にする

### 2. 本体前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する

- ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。  
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。

### 3. リモコンの $\ominus$ VOL $\oplus$ 音量ボタンで適切な音量に調節する

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。 聴力に悪影響をおよぼすことがあります。</li><li>• 3極<math>\phi</math>3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンを使用する。 4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります。</li></ul>
---	--



# 正しい使いかた (つづき)

## CD を聴く

### 通常再生をする

#### 1. リモコンのⓈCDボタンでCDモードに切り替える

表示部に「DISC」が表示されます。

- CDが入っていない状態では「NO DISC」表示が出ます。

#### 2. ⓈCDトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを開け、CDを載せる

CDトレイを開くと、「OPEN」表示が出ます。ラベル面を上にしてトレイに載せてください。

- CDトレイまたはCDの損傷や故障を避けるために、必ずCDトレイの中央に正しく載せてください。

8cm CDの場合はトレイ内側の凹みに合わせて載せてください。

- トレイは開いてから約30秒で自動的に閉まりますので、ご注意ください。

※「CDについて」(➡5)もご覧ください。



#### 注意

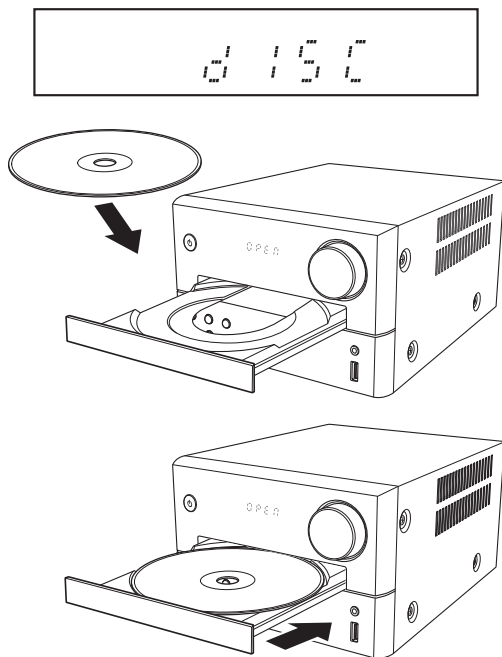
- CDトレイに指やものなどをはさまないように注意する。
- CDトレイの開閉は、必ずⓈCDトレイ開閉ボタンで行なう。破損の原因となります。
- 音楽CD、MP3 CD以外入れない。データCDやDVDなどを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。

#### 3. ⓈCDトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを閉める

CDトレイを閉めると「READ」表示が出て、CDの読み込みを始めます。

※ CDトレイは手で無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

- 読み込みできないCDと判断されると、「NO DISC」表示が出ます。





#### 4. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する




曲番号1から再生が開始されます。

- 表示部に曲番号と経過時間が表示されます。



##### 曲を進める スキップ+/早送りボタン

- 再生中にスキップ+/早送りボタンを1回押すごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。
- 本体では「スキップ+/早送りボタン」を押して操作します。




##### 曲を早送りする スキップ+/早送りボタンを長押しする

- 再生中にスキップ+/早送りボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
- スキップ+/早送りボタンを離すと通常再生に戻ります。
- 本体では「スキップ+/早送りボタン」を長押しして操作します。




##### 曲を戻す スキップ-/早戻しボタン

- 再生中にスキップ-/早戻しボタンを1回押すごとに1曲戻ります。
- 本体では「スキップ-/早戻しボタン」を押して操作します。




##### 曲を早戻しする スキップ-/早戻しボタン

- 再生中にスキップ-/早戻しボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
- スキップ-/早戻しボタンを離すと通常再生に戻ります。
- 本体では「スキップ-/早戻しボタン」を長押しして操作します。

##### 一時停止する 再生/一時停止ボタン

- 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと再生が一時停止します（表示部に曲番号と経過時間が点滅表示されます）。
- もう一度再生/一時停止ボタンを押すと再生が再開します。
- 本体では「再生/一時停止ボタン」を操作します。

##### 停止する 停止ボタン

- 再生中に停止ボタンを押すと再生が停止します。停止したあとに再生/一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。
- 本体では「停止ボタン」を操作します。

# 正しい使いかた（つづき）

## CD を聴く（つづき）

### 特殊再生をする

#### リピートモード

##### 1曲繰り返し・全曲繰り返し

本機では繰り返し再生ができます。

- ・音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルで使用できます。

#### 1. 再生中または停止中に、リモコンの

##### ⊖リピートボタンを押す

表示部右上に「」が点灯します。

⊖リピートボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります（右上表参照）。

#### 2. 繰り返し再生をやめるには、⊖リピートボタンを何度か押して表示部右上のリピート表示を消灯させる

### ランダムモード

曲をランダムに再生させることができます。

- ・音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルで使用できます。

#### 1. 再生中または停止中に、リモコンの⊖ランダムボタンを押す

表示部右上に「」が点灯します。

⊖ランダムボタンを押すたびにランダムモードが入/切します。

同じCD、USBからランダムに再生を始めます。

- ・ランダム再生中に、⏮⏭スキップ+ボタンを押すと、次の曲をランダムに選曲して再生します。

#### 2. ランダムモードをやめるときは、⊖ランダムボタンを押す

表示部右上の「」が消灯します。

※ 現在再生されている曲の次は、通常再生時の次の曲が再生されます。

⊖リピートボタンを押すたびに		表示部のリピート表示
1曲繰り返し再生		
フォルダー(アルバム)繰り返し再生(MP3)	ALB	
全曲繰り返し再生		ALL 
繰り返し再生をやめる		(点灯なし)

## PROGRAM(プログラム)機能・曲の順番を決めて聴く

本機では、音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルから、お好みの順番で再生させることができます。

### 1. リモコンの $\odot$ CDボタンでCDモードに切り替える

USBでもプログラム機能を使うことができます。  
 ・CDとUSBの曲を混在させることはできません。

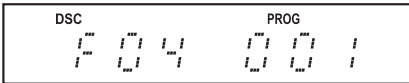
### 2. 自動で再生が開始されるため、 $\odot$ 停止ボタンで再生を停止させ、 $\text{PRG}$ /MEMORYボタンを押す



《表示例》

・CD曲の場合、「DSC」が点灯します。

### 3. MP3ファイルのときは $\text{FOLD-}$ / $\text{FOLD+}$ ボタンでフォルダーを選択する

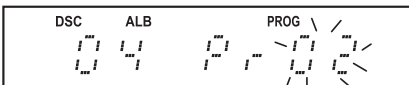


《表示例》

・MP3ファイルの場合、 $\text{FOLD-}$ / $\text{FOLD+}$ ボタンを押すと、フォルダー(アルバム)番号と曲番号が表示されます。

### 4. $\text{SKIP-}$ /早戻しボタン $\text{SKIP+}$ をスキップ+/早送りボタンで再生する曲を選び $\text{PRG}$ /MEMORYボタンを押す

1曲目として登録されます。



《表示例》

### 5. 順に選曲して $\text{PRG}$ /MEMORYボタンを押すことを繰り返す

$\text{PRG}$ /MEMORYボタンを押すことで曲が登録されます。

- ・最大20曲まで登録することができます。20曲目を登録すると、「FULL」表示が出て、1曲目に登録した曲番号が表示されます。 $\text{PRG}$ /MEMORYボタンを押すたびに、登録した曲が順に表示されます。

### 6. $\text{REPEAT}$ 再生/一時停止ボタンを押す

プログラム再生が始まります。プログラム再生中は通常の曲のように早送り・早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。

- ・プログラム再生が終了すると停止状態になります。再度プログラム再生するには、停止状態で $\text{REPEAT}$ 再生/一時停止ボタンを押してください。

### 7. リモコンの $\text{REPEAT}$ リPEATボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

$\text{REPEAT}$ ボタンで作成したプログラムを繰り返し再生、もしくは1曲繰り返し再生させることができます。

## プログラムの消去

停止中に再度 $\text{STOP}$ 停止ボタンを押すと、「PROG」が消灯し、プログラムが消去されます。

※CD(USB)モードから他のモードへの切替、 $\text{POWER}$ 電源ボタンを押す、ディスクの取り出しなどの操作、USBメモリーの取りはずしをしてもプログラムは消去されます。

# 正しい使いかた（つづき）

## CD を聴く（つづき）

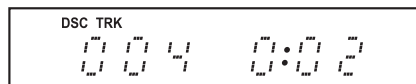
### CDのMP3ファイルを聴く

本機では、CDに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

1. 音楽CDの再生と同様に、リモコンの  
①CDボタンでCDモードに切り替え、  
②CDトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを開けてCDをトレイに載せる
2. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

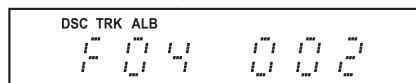
表示部には曲番号と経過時間が表示されます。



《表示例》

3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

- ③停止ボタンで再生を停止させると、次に④再生／一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- リモコンの、⑤FOLD-/FOLD+ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。



《表示例》

※ 「CD/USBメモリーについて」(➡4)、「CDについて」(➡5)もお読みください。



ファイルに適切な拡張子(.mp3)を付ける。  
拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。

### MP3ファイルの再生順番について

- 複数のフォルダーにMP3ファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
- 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。



## USBメモリーのMP3を聴く




本機では、USBメモリーに記録されたMP3ファイルを再生することができます。  
音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. リモコンのUSBボタンでUSBモードに切り替える

表示部に「USB」が表示されます。

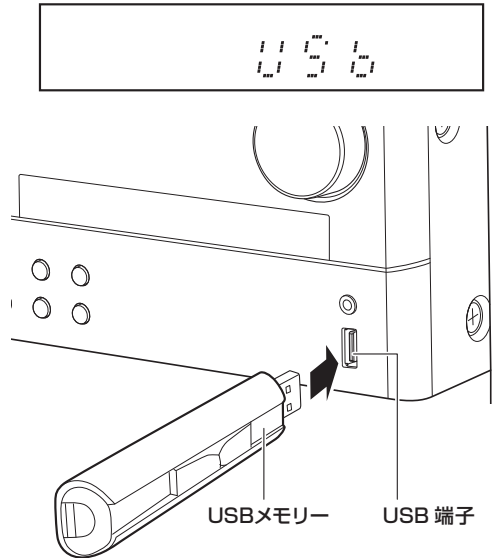
3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD同様の操作をすることができます。

- リモコンの、FOLD-/FOLD+ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
- 停止ボタンで再生を停止させると、次に再生/一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。総曲数が多いと、曲を探すのに時間がかかるため、慎重に操作してください。

USBでもCD同様に特殊再生・プログラム機能を使うことができます。

- CDとUSBの曲を混在させることはできません。



### ⚠注意

- ファイルに適切な拡張子 (.mp3) を付ける。  
拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときは、(金属にさわるなどして)体の静電気をなくしておく。  
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

# 正しい使いかた（つづき）

## Bluetooth® 機器を聴く

### Bluetooth 機器の設定

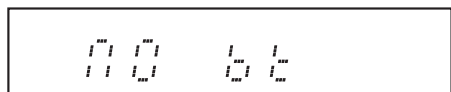
- Bluetoothデバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
  - ペアリングするときは、両方の機器を1m以内に置いてペアリング設定をしてください。
  - 本機は一度に1台のBluetooth機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順でBluetooth機器と接続（ペアリング接続）することができます。

### Bluetooth機器との初めての接続

#### 1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth 接続モードにしておきます。

#### 2. リモコンの $\text{BT}$ ボタンでBTモードに切り替える



#### 3. 接続するBluetooth機器のサーチ機能进行操作して、本機の製品名「SMC-140BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器の表示部に「SMC-140BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

- ※ ペアリング 接続・設定方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

#### 4. 接続が成功すると信号音が鳴り、表示部に「BT」が表示される

#### 5. 接続がうまくいかないときは、 $\text{BT}$ 再生／一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しする

もう一度最初から接続しなおしてください。



本機はSCMS-TIに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

### Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

#### 1. 「Bluetooth 機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

#### 2. 本機とBluetooth 機器が接続していることを確かめる

Bluetooth 接続されているときは、表示部に「BT」が表示されます。

未接続のときは「NO BT」が表示されます。

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

#### 3. 本機に接続した Bluetooth 機器で再生を始める

本機のリモコンでBluetooth機器のコントロールができます。

※ 接続したBluetooth機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

- $\text{▶}$  再生／一時停止
- $\text{◀◀}$  スキップー
- $\text{▶▶}$  スキップ+

このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCPプロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ お使いの Bluetooth 機器によっては正しく操作できない場合があります。

AVRCP プロファイル対応機種でも、このコントロールに対応しない機器や、対応コントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

## FMラジオを聴く

### FMラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。76~108MHzの受信ができ、FM補完放送(ワイドFM)に対応しています。受信状態が悪いときは、本体に取り付けたFMアンテナの向きなどを調節してください。

#### 1. リモコンのFMボタンでRADIOモードに切り替える

表示部に「RADIO」が表示されます。

#### 2. 《自動プリセット》リモコンのSTOPボタンを長押しする

自動プリセットが開始します。

#### プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
- 自動プリセット中は、他の操作はできません。自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

#### 3. プリセットされた局を聴くときは、リモコンのSKIP/早戻しボタン、SKIP+/早送りボタンでプリセット局を選局する

#### 4. 自動選局または手動選局で聴きたい放送局を受信する



注意

- FMアンテナは、子供の手の届く範囲に設置しない。アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

#### FMアンテナ端子についてご注意

- 本機のFMアンテナ端子の形状は「PAL型」です。本機付属アンテナ以外の同軸端子タイプのアンテナやケーブルなどをご使用になるときは、市販の「PAL→同軸RF変換アダプター」をお買い求めください。
- 本機PALアンテナ端子に同軸端子を無理に接続すると、破損しますのでご注意ください。

#### 《自動選局》

リモコンのTUN-/10-ボタンまたはTUN+/10+ボタンを長押しする。

- 自動選局が始まったら指を離してください。
- 放送局を受信すると自動的に止まります。

#### 《手動選局》

リモコンのTUN-/10-ボタンまたはTUN+/10+ボタンを短く押す。

- ボタンを押すたびに0.05MHzずつ周波数が変わります。

※電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

#### 5. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンのPRG/MEMORYボタンを押す

《表示例》

PRG/MEMORYボタンを押すと、プリセット可能な、空き番号(プリセット番号)が表示・点滅します。

#### 6. リモコンのPRG/MEMORYボタンを押す

表示された空き番号以外にも、SKIP/早戻しボタン、SKIP+/早送りボタンを使って任意のプリセット番号を指定することができます。プリセット番号を指定したら、リモコンのPRG/MEMORYボタンを押してください。

指定したプリセット番号に放送局が登録されます。

※既に登録されているプリセット番号を指定したときは上書きされて新しく設定した放送局になります。

プリセットは最大30局まで可能です。

# お手入れのしかた



**警告**

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。



**注意**

- ベンジン・シンナーでは拭かない。  
変色や変形の原因になります。
- 化学そうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。  
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない  
感電・故障の原因になります。

## 本体とスピーカーのお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。キズが付く原因となることがあります）。

本機のスピーカーの前面（サランネット）は、取りはずすことができません。

## 交換・紛失パーツの入手

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

 ドウシシャのパーツ購入は   DOSHISHA Marche ONLINE STORE 公式オンラインストアで <a href="https://www.doshisha-marche.jp/">https://www.doshisha-marche.jp/</a>	
---	--

ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャカスタマーセンター（⇒裏表紙）へお問い合わせください。

# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
<b>共通部</b>		
電源が入らない	・電源プラグがコンセントからはずれている	電源プラグをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	・消音状態になっている	リモコンの消音ボタンで消音を解除する
	・入力切替が目的のモードに設定されていない	本体の <b>SOURCE</b> ボタン、またはリモコンの各入力ボタンで目的のモードに切り替える
	・スピーカーケーブルが正しく接続されていない	正しく接続する(カチッと音がするまで奥まで差し込む)
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	・ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている	ヘッドホンを取りはずす
	・ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない	ミニプラグを奥まできちんと差し込む
雑音が入る	・4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している(4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります)	3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる
	・近くで電波など発する機器(携帯電話など)を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	・電池が消耗している	新しい電池に交換する
	・電池が正しく取り付けられていない	電池を正しく取り付け
	・操作する距離が遠い	リモコン使用可能範囲はリモコン受光部から約6mです
<b>CD部</b>		
再生が始まらない	・CDトレイが閉じられていない	CDトレイを閉じる
	・CDがトレイに裏返しに載せられている	ラベル面を上にして載せる
	・CDの汚れがひどい	クリーニングをする
	・CD-R/RWがファイナライズされていない	ファイナライズされたCDを使用する <sup>※1</sup>
	・CDが著作権保護技術でエンコードされている	ディスクによっては再生できない
音がとぶ	・結露状態になっている	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
	・振動がある	振動のない場所に置く
	・CDに大きなキズがある	CDを修復する
MP3を読み取らない	・フォーマットが違う	ISO9660でフォーマットして書き込む
	・書き込んだセッションが違う	MP3のCDは1度にすべてを書き込む(マルチセッションに対応しません)
	・拡張子「.mp3」が付いていない	拡張子「.mp3」を付ける <sup>※2</sup>
曲が繰り返し再生される	・リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする

※1 ファイナライズの方法については、ご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください(本機ではファイナライズできません)。

※2 音楽ファイルを認識しなかったときは、「NO SONG」と表示されます。

# 修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
曲が収録されている 順番通りに再生され ない	• プログラムが設定されている	プログラムを消去する
	• ランダムモードがオンになっている	ランダムモードをオフにする
<b>USB部</b>		
USBメモリーを認識 しない	• USBメモリーがFAT32以外のファイ ルシステムでフォーマットされている	USBメモリーをFAT32でフォーマットしな おして書き込む
	• USBハブなど介して接続している	本体に直接接続する
	• HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
MP3を読み取らない	• USBメモリーが読み取れないフォー マットを使用している	FAT32でフォーマットしなおして書き込む
	• ファイルに拡張子「.mp3」が付いてい ない	ファイルに拡張子「.mp3」を付ける <sup>※2</sup>
曲が繰り返し再生される	• リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
<b>FMラジオ部</b>		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	• 電波状態が悪い	窓際などで試してみる
	• アンテナが正しく接続されていない	正しく接続する
<b>Bluetooth部</b>		
音が出ない	• Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	• 無線LANや電子レンジ、無線機器 などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	• 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	• SCMS-Tの送信	本機はSCMS-Tに対応していません
ペアリングできない	• Bluetooth機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけ てペアリングする
	• Bluetooth機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	• 先に別のBluetooth機器が接続され ている	別のBluetooth機器が接続されていないか 確認する
音がひずむ、または 途切れる	• Bluetooth機器との接続が不安定に なっている	• Bluetooth機器を接続しなおす • Bluetooth機器と本機を近づける • Bluetooth機器側の接続品質の設定を見 直す

※2 音楽ファイルを認識しなかったときは、「NO SONG」と表示されます。

# 主な仕様

## 仕様

### アンプ部

定格出力 (RMS・THD10%)	5W + 5W
-------------------	---------

### CD部

再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA、MP3

### USB部

バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプ A)
使用可能容量	32GB 以下
ファイルシステム	FAT32
再生可能フォーマット	MP3 (拡張子 .mp3、.MP3)
最大読み込みファイル数	999
最大読み込みフォルダー数	99

### FMラジオ部

形式	PLL オートスキャン
受信バンド	FM
FM 受信周波数	76 ~ 108MHz (ステレオ放送対応)
プリセット数	30 局

### スピーカー部

タイプ	フルレンジバスレフタイプ
ドライバー	7.5 cmフルレンジ
インピーダンス	6 Ω

### Bluetooth部

バージョン	Ver.5.2
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応

### 基本仕様

出力端子	3.5mm ステレオヘッドホン端子
外形寸法	本体 (突起物除く) (約) W180 × D245 × H120 mm スピーカー (1本) (約) W150 × D126 × H240 mm
質量	本体 (約) 1.6 kg (本体のみ) / スピーカー (1本) (約) 1.1 kg
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	動作時 20 W / スタンバイ時 0.5W

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

## 長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかつたりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤカスタマーセンターに点検をご相談ください。

## 株式会社 ドウシシャ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ カスタマーセンター

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

【営業日】平日9:00～17:00 【休業日】土日祝日、年末年始、当社指定日

**TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799**

※ 製品名、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。